

会 議 録		令和6年12月16日作成	令和10年3月末日廃棄
会議名	京都府下京警察署協議会（令和6年度第3回）		
開催日	令和6年12月5日（木曜日）		
時 間	午前10時30分から午前11時50までの間（80分）		
場 所	京都府下京警察署 講堂		
出席者	冨江会長、山田（由）委員、和田（円）委員、大下委員、鈴木委員、内藤委員、 和田（雅）委員、山田（守）委員、川西委員 （欠席 井上副会長、宮田委員） 計9人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全係長、地域課長、刑事課長、 警備課長、交通課長、管区機動隊員、広聴相談係長 計11人		
諮 問 事 項	1 強盗事件（闇バイト）の抑止対策について 2 警察の水害対策について		
会 議 内 容	1 署長挨拶 司会 副署長 2 会長挨拶 3 協議 司会 副会長 (1) 諮問事項説明 強盗事件（闇バイト）の抑止対策について～生活安全課長、刑事課長 【委員】 テレビや新聞を見ない若い方が増えていると報道されているとおり、周知 することが難しい。学校などで啓発のチラシを配布されているそうだが、ど のようにして知らせていくかが問題だと感じた。 【委員】 闇バイト募集は詐欺にあたるのか。詐欺に加担させられたことになるのか。 【警察】 犯行を実行する仲間を集める手段として闇バイトを募集しており、それ自 体は手段であって詐欺にはならない。集まった人間を使った犯行により罪名 は変わる。 【委員】 テレビや新聞で何度も報道されているが無くならないというのは、よほど 強い意志を持っていなければいけないということだと思う。追い込まれてい る人間の心理にうまくつけこんでおり、注意が必要だと思った。 【委員】 子供がスマホのゲーム等で何のアプリを使っているか確認することができ ず、子供を信じるしかないが、家族間で話をしてコミュニケーションをとる ように心掛けている。 【委員】 私は携帯も上手に使えない。息子からは、身に覚えのない電話やメールな		

ど、「ややこしいものは詐欺に決まっている。」とされているので、身に覚えのないメールは無視し、誤った操作をしないように息子に確認してもらっている。

【委員】今はSNSが容易に利用できる。各種オンライン申請や学生のテストの申込みのほか、学校への連絡もSNSで情報を交換している。その延長で顔の見えない募集に応じてしまう状況となっていると思う。

昔はバイト募集で何の情報もない中、いきなり採用になることは危険だと認識できたが、今では危険だということを伝えるべきだと思う。

下京区役所でも社会全体の問題と捉えて、警察と連携して市民新聞などで情報発信を行い、抑止対策を進めている。

【委員】闇バイトは若者に限らず高齢者も参加することがあり、犯行も複雑巧妙化している。私の家にも不審電話がかかっており、身近に起きている問題と認識している。気を付けなければいけないという気持ちがある一方で、社会的なコミュニケーションがとれなくなるのではないかという心配もあり、様々な面で注意が必要だと感じている。

【委員】以前から、詐欺の迷惑メールが冬休みや夏休みに増えるように感じており、学生がバイトをしているのかと思っていた。今は、より危険な闇バイトという形態に変化した。昔からあったのかなとも思う。

【委員】闇バイトや詐欺などがあることさえ知らない人への予防対策が大切だと考えている。地域連合会や敬老会などで、地域課長から端的で力強い話をしてもらったことが心に残っている。今後も地域の集まりの時に警察署の各課が出前講座していただくと予防対策面で心強いと思う。

【警察】事前に連絡をいただければ、テーマ等も相談の上、対応が可能である。

(2) 諮問事項説明

警察の災害対策について～警備課長、管区機動隊員

【委員】地域包括支援センターは、12月8日実施予定の下京総合防災訓練時にブースを設けて、100円ショップで購入した防災グッズを紹介する。物によって、「これは使える。」とか「使えない。」などと見ていただき、参考にしてもらいたいと考えている。

【委員】西本願寺としても万全を期して防災対策を進めており、更なる関係機関との連携をしていきたいと考えている。

【委員】災害、地震発生時には、警察、消防、ボランティアの方々の活動を拝見しているが、私は一緒に活動する災害救助犬を見るとこみあげてくるものがある。私は犬が大好きで応援している。災害救助犬の活動を多くの人に知ってもらい、応援してほしいと思う。

【委員】私が住む西洞院松原付近は、集中して雨が降ると水があふれることもある。消防や地域の方が土嚢をすぐ持ってきて対策をとってくれるため、助かっている。

【委員】区役所勤務の中で防災対策に長く従事しており、能登半島地震では現地に行った。熊本地震でも避難所運営に携わった。今回の下京総合防災訓練は、

会 議
内 容

防災に関心を持ってほしいということから始めた。自分の命を守るということを考えてほしい。災害発生時には下京区長を本部長とする下京区災害対策本部を設置することになっており、警察、消防、関係機関と連携して行っていきたいと考えている。

【委員】能登半島の豪雨災害で行方不明の方の捜索に従事されたという話を伺った。自衛隊、消防、警察と連携して行ったとのことだが、役割分担や指示系統はあるのか。

【警察】災害時、火災が発生すれば当然消防が出勤し、対応することになるが、火災が収まり救出救助することになれば、現地に自衛隊、消防、警察の合同調整会議が設けられ、一緒に活動を行う。情報を集約して各々連携して対応することになる。

【委員】災害出勤経験のある京都市水道局員の方から、トイレが大変だったと伺った。衣食住の最後の排泄というところが大切だと感じた。

【委員】下京警察署には止水板が設置されており、署としての水害対策をされていることが分かった。また、万が一の場合に備えて、機能移転先として京都市立芸術大学との連携もあり、先の先を考えて計画されていると分かり、安心感を持った。地域としても、自助、共助、公助と言われており、私たちが災害に備えるということを改めて考える良い機会になった。

4 事務連絡

令和6年度第4回下京警察署協議会は、令和7年2月中旬に実施する予定である。

以上

第3回京都府下京警察署協議会の開催状況

